

平成22年 9月10日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード 8732 大証ヘラクレス)  
 問合せ先 取締役CFO 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 平成22年8月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成22年8月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	平成 21 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	1,073	1,029	1,064	851	782	874	923	813	656	928	777	697
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	65,379	65,376	71,623	62,545	57,906	59,165	63,775	58,187	62,076	77,652	70,481	75,109
顧客口座数 (単位：口座)	84,100	88,675	92,763	96,660	99,811	104,065	107,250	110,222	113,275	116,632	119,881	123,278
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	25,519	22,605	22,453	23,369	23,798	24,198	24,524	26,124	27,295	25,444	27,331	25,557

年 月	平成 22 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	794	775	860	843	1,249	882	855	627				
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	75,878	71,294	66,193	79,232	137,860	78,141	69,980	63,673				
顧客口座数 (単位：口座)	126,746	130,930	133,213	135,141	137,924	140,592	142,846	145,622				
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	28,234	30,319	26,375	28,316	28,099	32,030	30,419	33,160				

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。  
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。  
 4. 平成20年6月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。

- (4) 外国為替取引預り証拠金：ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示しておりません。
5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

#### < 8月次の概況 >

8月の外国為替市場は、米国景気後退への不安や欧州における信用不安の再燃を背景に総じて円高基調で推移しました。米ドル/円は月初から中旬にかけて値動きの乏しい展開となりましたが、24日に発表された米国「中古住宅販売件数」が大きく予想を下回ったこと等から約15年振りに83円台まで急落する動きとなり、月を通しての変動率は前月とほぼ同水準となりました。また、米ドル/円以外の主要な通貨ペアである欧州・オセアニア通貨につきましても、ユーロ/円の変動率は前月を若干上回ったものの、豪ドル/円やポンド/円の変動率は前月に比べ低下する動きとなりました。

一方、この8月より「レバレッジ規制」が施行され、FX業界における取引高の減少が懸念される中、当社グループでは、8月2日より米ドル/円のスプレッドを1.9銭から1.4銭に引き下げる等主要な取扱い通貨ペアの顧客提示スプレッドを縮小し、さらに23日より全通貨ペアのスプレッドを0.2銭（0.2pips）縮小するキャンペーンを実施いたしました。

この結果、外国為替取引高は、前月比約9%減少となる63,673百万通貨単位となりました。一方、営業収益につきましては、相対的に収益性の低い通貨ペアである米ドル/円の割合が増加したことに加え、スプレッドの縮小に伴う取引高当たりの収益性の低下等により627百万円となりました。顧客基盤については、円高の影響等により新規口座開設数が大きく増加し、顧客口座数は前月比2,776口座増加の145,622口座となったほか、月末に向けて買建ポジションが増加したこと等から、外国為替取引預り証拠金は、前月比2,740百万円増の33,160百万円となりました。

以 上